

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

### 事業名【新】若者定着奨学金返還支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業人材課 産学金官連携係 電話番号：058-272-1111(内3682)

E-mail：c11369@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,531 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	10,531	0	0	0	0	0	0	0	10,531
決定額	8,110	0	0	0	0	0	0	0	8,110

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

本県の有効求人倍率は全国平均より高い水準で推移しており、人口減少・少子高齢化を背景に、企業における人手不足が深刻化し、人材確保が喫緊の課題となっている。

また近年、地方の若者が東京をはじめとする都市部に転出・集中しており、本県でも大学へ進学する高校生のうち約8割が都市部等の県外大学へ進学するなど「清流の国ぎふ」の未来を支える人材が流出している。

### (2) 事業内容

若者の県内定着及び産業人材の確保を図るため、大学等在学中に奨学金の貸与を受け、卒業後に県内登録企業に雇用された若者を対象に、県と登録企業とが原資を拠出した基金から奨学金の返還を支援する「岐阜県若者定着奨学金返還支援制度」の創設及び周知・広報等を行う。

### (3) 県負担・補助率の考え方

人口減少社会において、地域の産業等の担い手となる若者の定着促進は急務であり、県が取り組む必要がある。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	564	
需用費	270	
役務費	180	
委託料	9,337	
使用料及び貸借料	180	
合計	10,531	

### 決定額の考え方

広報経費を精査し、所要額を計上します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

【「清流の国ぎふ」創生総合戦略】

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興 ①産業を支える人材の育成・確保

【岐阜県経済・雇用再生戦略】

3 人材確保・雇用対策プロジェクト

### (2) 国・他県の状況

27都県で実施

### (3) 後年度の財政負担

県と企業が1/2ずつ基金へ出捐

基金に対し県が出捐した額及び制度の周知・広報のために支出した額の1/2については、特別交付税の対象となる。

### (4) 事業主体及びその妥当性

県が事業主体となることが妥当

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 若者の県内就職を促進し、人材の県外流出防止及び県内企業の人手不足の解消を図る。

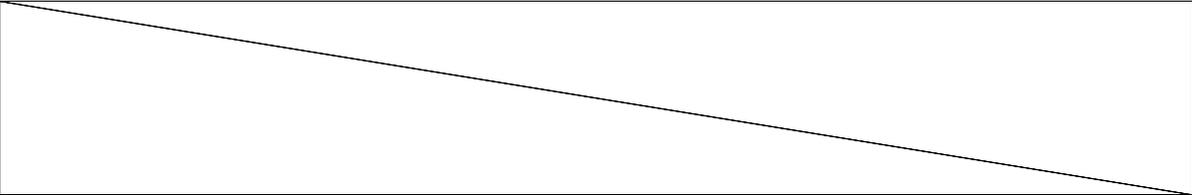
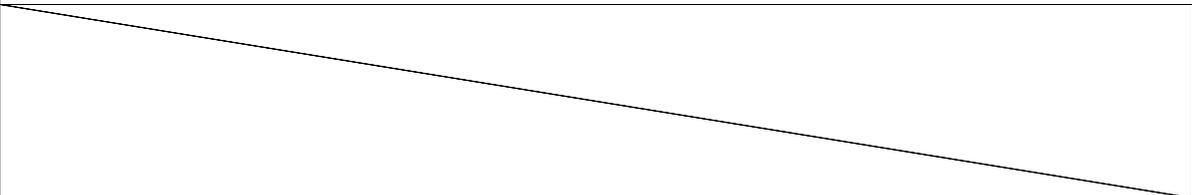
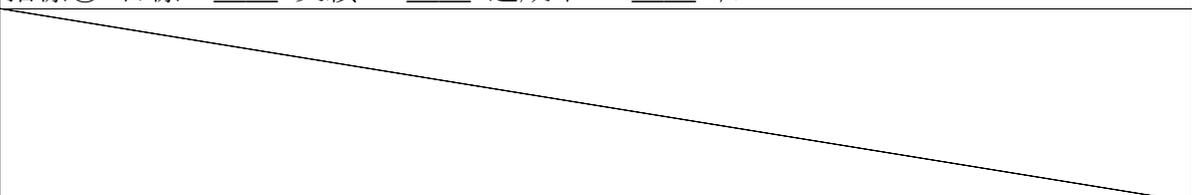
### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①奨学金返還支援 制度利用者数	0	/	/	—	—	
②		/	/			

### ○指標を設定することができない場合の理由

令和6年度は募集のみを行い、実際の制度開始は令和7年度となるため、令和6年度の指標を設定することができない。令和7年度以降の指標については、令和6年度の応募状況等を考慮して設定する。

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3 : 期待以上の成果あり  
2 : 期待どおりの成果あり  
1 : 期待どおりの成果が得られていない  
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

### (今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

### (次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせる理由  
や期待する効果 など